

ムンバイからアーメダバード(約505km)を結ぶ高速鉄道の整備計画。インドにおける最初の高速鉄道路線。

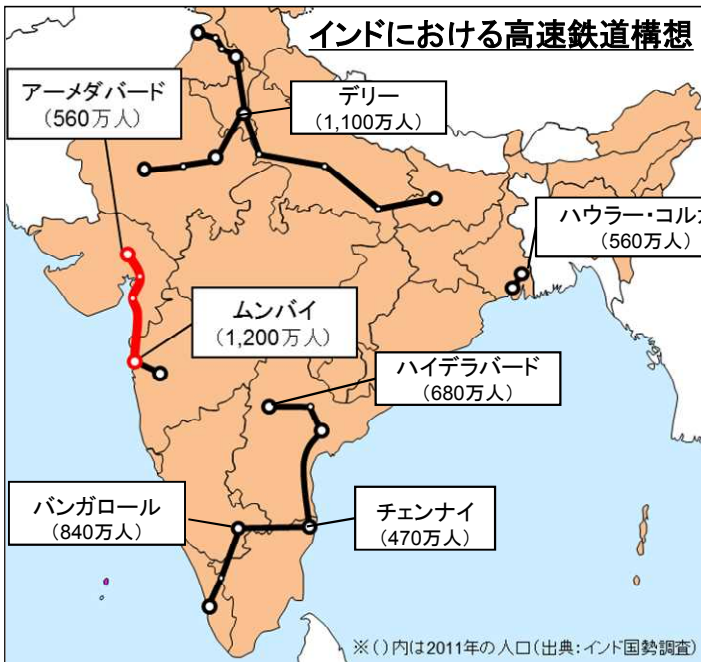
案件概要(日印共同調査)

日印首脳会談の合意に基づき、2013年12月から日印共同調査を実施(2015年6月終了)。

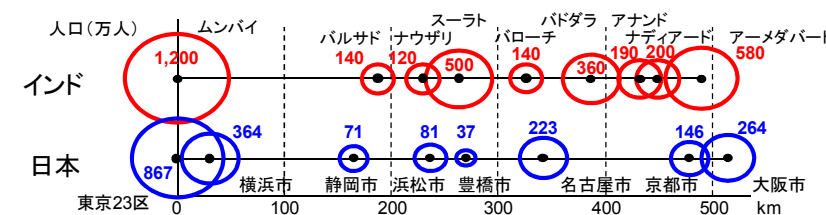
- ムンバイ～アーメダバード間: 505km
- 所要時分: 2時間7分(速達タイプ)
- 専用軌道、標準軌、駅数: 12駅
- 営業最高速度: 320km/h

経緯

- 平成25年5月、日印首脳会談(東京)において、ムンバイ・アーメダバード路線について、日印共同調査を実施することで合意。
- 平成26年9月、日印首脳会談(東京)において、安倍総理より、新幹線システムの導入を前提に「資金面・技術面・運営面での支援」を提供する用意がある旨表明。
- 平成27年9月、プラブー鉄道大臣が太田国交大臣の招聘に応え来日。安倍総理、太田大臣などの要人と会談。新幹線関係の視察を実施。
- 平成27年10月、山本副大臣が訪印し、インド国際鉄道機器展示会(IREE)内で、日本鉄道セミナーを開催。プラブー鉄道大臣と会談。
- 平成27年12月、日印首脳会談(デリー)に際し、日印両国政府間で、ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道への新幹線システムの導入に関する協力覚書に署名。



【参考】ムンバイ～アーメダバード間と東京～新大阪間における沿線都市人口の比較



(出典) インド:「インド国高速鉄道導入可能性検討に係るF/S調査(JETRO)」報告書(平成16年度)
日本:平成20年3月現在の推計人口

今後の方針

日印間で合同委員会を設け、ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道計画の実施に係る詳細について、協議を実施する。